

放射能の恐ろしさをいちばん知っていたはずの日本人が、なぜ福島の原因を起こしてしまったのか？そしてなぜ今も原発にこだわるのか？

長崎の被爆3世の瑠衣子はこの疑問を胸に、原子力の平和利用の現場を旅する。
 福島県浪江町、青森県六ヶ所村、そして、旅の終着地は大間町。
 瑠衣子は母校の長崎大学核廃絶研究センターを訪ね、
 日本が47トンもの大量のプルトニウムを保有している事実を知る。
 やがて瑠衣子は、政治家たちが隠してきた重大な事実を知ることになる。
 長崎に生まれた者として、決して許せない事実を・・・

プルトニウムでつながっていた
 長崎、福島、青森、そしてアメリカ



瑠衣子からのメッセージ

わたしは、福島と青森に向かった。浪江町の町並みを見渡して、胸が張り裂けそうな思いだった。ひとり一人歩いてない商店街。建物は崩れたまま。海辺は車がべしゃんこにひっくり返っていた。あの災害が、あの事故が起こるまで、この町には当たり前前に人が暮らしていた。4年前からこの町の時計は止まったまま。青森では六ヶ所村と大間へ。再処理工場と原発を巡り、40年間闘い続けている人との出会い。命を蝕む放射能。そこで命を育もうとする人。怒りや憎しみではなく、愛をもって闘っていた。わたしがそこで学んだものは絶望ではなく、溢れる優しさと希望だった。



ハカルワカル広場ってどんなところ？

ハカルワカル広場は子どもたちを内部被ばくから守るために、食品、土壌の測定活動をしているボランティア団体です。原発事故が風化していく現在、測定活動の継続には汚染食品の市場流入を防ぐ監視の役割があります。また、放射能被ばくの危険性を広く伝える活動もしています。

ハカルワカル広場はボランティアと、維持会員の会費で運営されています。

八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場

お電話 問合せ 042-686-0820

HP: <http://hachisoku.org> Eメール: hachisoku@gmail.com

【開室】火～金：10時～15時 11月19日からしばらくの間土曜日の運営は次のようになります。●土曜日運営時間：15時～21時、土曜運営場所：8Beat(八王子駅近くドンキホーテ前ビル5階、地図参照) ●活動内容：英語リソースを活用する会(海外情報を見る方法を一緒に勉強する)、ハカルワカルコミュニティラジオの準備など。ご参加下さい！予約不要

ボランティア、維持会員募集中！

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です！ ゆうちょう銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)

案内地図



- 徒歩：JR八王子駅(北口)より約20分、京王八王子駅より約23分
- バス：JR八王子駅(6番～10番乗り場のバスならどれでも)、京王八王子駅(主に1番のりば、2,3番も少し)から約8分。「織物組合」下車、バスの進行方向(西八王子方向)に歩いて約1分
- 車：国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m ※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください